

## 第2号様式（第3関係）

### 豊山町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議議事録【公開用】

#### 1 開催日時

令和2年2月3日（月）午後1時30分から午後2時40分まで

#### 2 開催場所

豊山町役場 会議室5

#### 3 出席者

##### （1） 委員

<出席>

藤田幸敏委員（愛知学泉大学現代マネジメント学部教授）

利光克仁委員（名古屋空港ビルディング株式会社代表取締役社長）

加藤導彦委員（三菱UFJ銀行小牧支店長）

伊藤文人委員（連合愛知尾張中地域協議会副代表（三菱重工グループ労連名航地本））

落合和也委員（株式会社小牧サービス代表取締役）

櫛田和裕委員（尾張中央農業協同組合豊場支店長）

<欠席>

竹内智恵子委員（豊山町まちづくりサポーター）

##### （2） 事務局

総務部長 小川徹也

総務課長 鈴木雅之

総務課企画・情報係主査 牧野礼男

#### 4 議題

（1） 推進会議設置の趣旨、所掌事務等について

（2） 平成30年度・令和元年度の地方創生事業について

（3） 第2期豊山町まち・ひと・しごと創生総合戦略案について

#### 5 会議資料

資料1 推進会議設置の趣旨、所掌事務について

資料2 平成30年度 豊山町地方創生推進事業について

資料3 令和元年度 豊山町地方創生推進事業の主な取組み内容について

資料4 第2期豊山町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

## 6 議事内容

### (1) 町長挨拶

本日は、ご多忙の中、お集まりいただき感謝申し上げます。

本日の会議では、地方創生のため国が交付する交付金による事業について有識者の皆さまからの御意見を賜り、また、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略案についてご審議いただくこととしている。まち・ひと・しごと創生総合戦略は、全国的な人口減少・少子高齢化に的確に対応するため、法律に基づき各自治体がそれぞれの特性を生かして定めるものである。

本町においては、他の地域にはない航空機関連施設の立地・集積を活かして、人を呼び込み、町内での消費喚起やにぎわいづくりを促すことを施策の一つとして、交付金を活用して取り組んでいるところである。第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略案においても、「ヒコーキのまち」をテーマにした観光推進は戦略の一つとしている。本町における、今後の産業観光の発展のためにも、ご意見を頂きたい。

町では、先般、令和2年度から10年間のまちづくりの方向性を定める町の最上位計画として、第5次総合計画を取りまとめたところである。第5次総合計画においても、にぎわいの維持・向上と暮らしの豊かさを実現するための施策を定め、特に、「人」「暮らし」「産業」の3つがキラリと輝くまちづくりを重点目標としている。これは、まち・ひと・しごとの創生という総合戦略の目標と共通している。今後も、総合計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略を一体的に推進することで、施策の着実な実施と本町の発展につなげてまいりたい。

結びに、委員の皆様の専門的な見地から、貴重なご意見を頂きますよう、お願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

### (2) 議題

#### ① 推進会議設置の趣旨、所掌事務等について

事務局：説明（資料1）

意見なしで議題1については承認されたものとする。

#### ② 平成30年度・令和元年度の地方創生事業について

事務局：説明（資料2・資料3）

意見なしで議題2については承認されたものとする。

③ 第2期豊山町まち・ひと・しごと創生総合戦略案について

事務局：説明（資料4）

A委員：全体的な印象だが、本当に2024年までにすべて実施するおつもりで策定しているということによろしいか。かなりのマンパワー、お金、時間が必要になる。少し失礼な言い方になるが、議会にも説明し、パブリックコメントも実施するとすると、必達となる。

総務部長：総合戦略案は、第5次総合計画を踏まえ、人口ビジョンに関わるものを抜き出したものである。したがって、これらの事業は、第5次総合計画においても掲げ、議会にも上程し、承認いただいたところなので、しっかり実施していきたいと考えている。

B委員：基本目標4の数値目標「産業に関する施策に対する住民の評価」や、基本目標5「交流・にぎわいをつくる」は、住民に対して問うものとなっている。一方、「体験プログラム・イベント参加者数」は、町民のみならず、町外からの参加者も含めているものと思う。そのあたりは、どのようにお考えか。

主査：基本目標ごとの数値目標は、住民からのアンケートの結果としている。おっしゃるとおり、町の企業立地促進策などに対する住民の評価を指標としている。これは、第5次総合計画にも掲げている目標である。同様に、基本目標5の数値目標も、住民アンケートの結果を指標としており、第5次総合計画にも掲げている。体験プログラム・イベント参加者数は、広く町内外から多くの人に参加いただくことを目標としている。このような観光施策を住民協働により取り組んでいきたいので、まちづくり活動への参加意向割合を数値目標にしているものである。

B委員：イベントをつくっていく、ということか。

主査：そうである。

会長：関連して、基本目標1の数値目標「この地域で子育てをしていきたいと思う親の割合」の現状値97.4%は、5段階の評価で最も高い評価の人が97.4%ということによいか。

主査：基本目標2から5までの数値目標は、5段階評価である。しかし、基本目標1の数値目標は、4段階評価となっていて「①そう思う」「②どちらかといえばそう思う」「③どちらかといえばそう思わない」「④そう思わない」のうち、①と②を合わせた回答割合が97.4%となっている。

会長：ほかにはよろしいか。説明があったように、今後、パブリックコメントと議会への説明を経て、3月に行う第2回会議において再度審議いただく。

(3) その他  
特に意見なし